

Silk Test 14.0

Silk4NET チュートリ
アル

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2013. All rights reserved. Silk Test は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2013 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-05-28

目次

Silk4NET 入門ガイド	4
Silk4NET プロジェクトの作成	5
プロジェクトへの Silk4NET テストの追加	6
Silk4NET テストの記録	7
Silk4NET テストの実行	9
TrueLog の有効化	10
テスト結果の分析	11

Silk4NET 入門ガイド

Silk4NET を使用するには、次の操作を実行します。

1. Silk4NET プロジェクトを作成します。
2. プロジェクトに Silk4NET テストを追加します。プロジェクトには記録されたテストおよび、手動でスクリプトを作成したテストを含めることができます。
3. テストを実行します。
4. テスト結果を分析します。

Silk4NET プロジェクトの作成

1. Silk4NET > **新しいプロジェクト** または **ファイル** > **新規作成** > **プロジェクト** をクリックします。 **新しいプロジェクト** ダイアログ ボックスが表示されます。
2. **インストールされたテンプレート** で、**Visual Basic** または **Visual C#** をクリックし、**Silk4NET プロジェクト** をダブルクリックします。 **Silk4NET テストの作成** ダイアログ ボックスが開きます。
3. 次のいずれかのオプション ボタンをクリックして、Silk4NET テストの作成方法を選択します。

Silk4NET テストの記録 テスト対象アプリケーションに対する操作および検証を記録し、記録されたオートメーション ステートメントを含む新しいテストを生成します。

空の Silk4NET テストの作成 オートメーション ステートメントを後で入力できる空のテストを作成します。

4. **OK** をクリックします。空の Silk4NET テストを作成するように選択した場合は、Silk4NET プロジェクトを含む新しいソリューションが作成されます。また、このプロジェクトには、言語固有の以下のファイル名を使用して、Silk4NET テストも作成されます。

- UnitTest1.vb
- UnitTest1.cs

5. 新しい Silk4NET テストを記録するように選択した場合は、**新規アプリケーション構成** ウィザードが開きます。テストするアプリケーションのタイプを選択します。

- 標準アプリケーションをテストする場合は、**標準テスト構成** をクリックします。
- Web アプリケーションをテストする場合は、**Web サイト テスト構成** をクリックします。

6. **次へ** をクリックします。

7. 標準アプリケーションをテストするように選択した場合は、**新規標準構成** ダイアログ ボックスが開きます。テストしたいアプリケーションに対応する構成をクリックします。

テストするアプリケーションがリストに表示されない場合は、**キャプションを持たないプロセスを表示しない** チェック ボックスをオフにします。このオプションはデフォルトでオンになっており、キャプションが付いているアプリケーションのみをフィルタ処理するために使用します。


8. Web アプリケーションのテストを選択した場合、**新規 Web サイト構成** ダイアログ ボックスが開きます。**ブラウザの種類** リスト ボックスから、テストするブラウザの種類を選択します。

a) **ブラウザ インスタンス** セクションで、次のオプション ボタンをクリックします。

既存のブラウザを使用する すでに開いているブラウザを使用する場合は、このオプション ボタンをクリックします。たとえば、テストしたい Web ページがすでにブラウザ上に表示されている場合などに、このオプションを使用します。

新しいブラウザを開始する テストを構成する際に、新しいブラウザ インスタンスを開始する場合には、このオプション ボタンをクリックします。次に、**ブラウズする URL** テキスト ボックスで、開く Web ページを指定します。

9. **終了** をクリックします。テスト メソッドの再生で Google Chrome の既存のインスタンスを選択した場合は、Silk Test Recorder がオートメーション サポートが含まれているかどうかをチェックします。オートメーション サポートが含まれていない場合は、Silk Test Recorder が Google Chrome を再起動する必要があることを通知します。アプリケーションと **記録中** ダイアログ ボックスが開きます。

 **注:** **ソリューション エクスプローラー** のコンテキスト メニューを使って Silk4NET プロジェクトを既存のソリューションに追加することもできます。

プロジェクトへの Silk4NET テストの追加

既存の Silk4NET またはテストプロジェクトにのみ Silk4NET テストを追加できます。Silk4NET またはテストプロジェクトが存在しない場合は、Silk4NET テストを作成する前に Silk4NET またはテストプロジェクトを作成してください。

1. **Silk4NET > 新しいテスト** または **プロジェクト > 新しい項目の追加** をクリックします。



注: ソリューションに複数の Silk4NET プロジェクトが存在する場合、**プロジェクトの選択** でリストから新しいテストを追加するプロジェクトを選択します。

新しい項目の追加 ダイアログ ボックスが開きます。

2. **インストールされたテンプレート** で次のいずれかをクリックします。

- プロジェクトが Visual Basic プロジェクトの場合は、**共通項目 > Silk4NET テスト** をクリックします。
- プロジェクトが Visual C# プロジェクトの場合は、**Visual C# アイテム > Silk4NET テスト** をクリックします。

Silk4NET テストの作成 ダイアログ ボックスが開きます。

3. 次のいずれかのオプション ボタンをクリックして、Silk4NET テストの作成方法を選択します。

Silk4NET テストの記録 テスト対象アプリケーションに対する操作および検証を記録し、記録されたオートメーション ステートメントを含む新しいテストを生成します。

空の Silk4NET テストの作成 オートメーション ステートメントを後で入力できる空のテストを作成します。

4. **OK** をクリックします。空の Silk4NET テストを作成するように選択した場合は、Silk4NET プロジェクトを含む新しいソリューションが作成されます。また、このプロジェクトには、言語固有の以下のファイル名を使用して、Silk4NET テストも作成されます。

- UnitTest1.vb
- UnitTest1.cs

5. Web アプリケーションのテストを選択した場合、**新規 Web サイト構成** ダイアログ ボックスが開きます。**ブラウザの種類** リスト ボックスから、テストするブラウザの種類を選択します。

- a) **ブラウザ インスタンス** セクションで、次のオプション ボタンをクリックします。

既存のブラウザを使用する すでに開いているブラウザを使用する場合は、このオプション ボタンをクリックします。たとえば、テストしたい Web ページがすでにブラウザ上に表示されている場合などに、このオプションを使用します。

新しいブラウザを開始する テストを構成する際に、新しいブラウザ インスタンスを開始する場合には、このオプション ボタンをクリックします。次に、**ブラウズする URL** テキスト ボックスで、開く Web ページを指定します。

6. **終了** をクリックします。テスト メソッドの再生で Google Chrome の既存のインスタンスを選択した場合は、Silk Test Recorder がオートメーション サポートが含まれているかどうかをチェックします。オートメーション サポートが含まれていない場合は、Silk Test Recorder が Google Chrome を再起動する必要があることを通知します。アプリケーションと **記録中** ダイアログ ボックスが開きます。

テストを記録するように選択した場合は、記録したテストがプロジェクトに追加されます。空のテストを追加するように選択した場合は、空の Silk4NET テストがプロジェクトに追加されます。



注: ソリューション エクスプローラーのコンテキスト メニューを使って Silk4NET テストを Silk4NET またはテストプロジェクトに追加することもできます。

Silk4NET テストの記録

1. Silk4NET > **新しいテスト** または **プロジェクト** > **新しい項目の追加** をクリックします。



注: ソリューションに複数の Silk4NET プロジェクトが存在する場合、**プロジェクトの選択** でリストから新しいテストを追加するプロジェクトを選択します。

新しい項目の追加 ダイアログ ボックスが開きます。

2. **インストールされたテンプレート** で次のいずれかをクリックします。

- プロジェクトが Visual Basic プロジェクトの場合は、**共通項目** > **Silk4NET テスト** をクリックします。
- プロジェクトが Visual C# プロジェクトの場合は、**Visual C# アイテム** > **Silk4NET テスト** をクリックします。

Silk4NET テストの作成 ダイアログ ボックスが開きます。

3. **Silk4NET テストの記録** をクリックします。 **新規アプリケーション構成** ウィザードが開きます。

4. テストするアプリケーションのタイプを選択します。

- 標準アプリケーションをテストする場合は、**標準テスト構成** をクリックします。
- Web アプリケーションをテストする場合は、**Web サイト テスト構成** をクリックします。

5. Web アプリケーションのテストを選択した場合、**新規 Web サイト構成** ダイアログ ボックスが開きます。**ブラウザの種類** リストボックスから、テストするブラウザの種類を選択します。

a) **ブラウザ インスタンス** セクションで、次のオプション ボタンをクリックします。

既存のブラウザを使用する すでに開いているブラウザを使用する場合は、このオプション ボタンをクリックします。たとえば、テストしたい Web ページがすでにブラウザ上に表示されている場合などに、このオプションを使用します。

新しいブラウザを開始する テストを構成する際に、新しいブラウザ インスタンスを開始する場合には、このオプション ボタンをクリックします。次に、**ブラウズする URL** テキスト ボックスで、開く Web ページを指定します。

6. **終了** をクリックします。テスト メソッドの再生で Google Chrome の既存のインスタンスを選択した場合は、Silk Test Recorder がオートメーション サポートが含まれているかどうかをチェックします。オートメーション サポートが含まれていない場合は、Silk Test Recorder が Google Chrome を再起動する必要があることを通知します。アプリケーションと **記録中** ダイアログ ボックスが開きます。


7. 記録を行う、テスト対象アプリケーションとの対話を実行します。

詳細については、『Silk Test Recorder ヘルプ』を参照してください。

8. 記録が終了したら、**記録** ダイアログ ボックスの **記録の停止** をクリックします。 **記録完了** ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスの **再生** をクリックすると、記録したテストを再生することができます。

- Visual Studio 2010 を使用している場合は、Visual Studio の **テスト ビュー** を使って、テストの再生および管理を行うことができます。
- Visual Studio 2012 を使用している場合は、Visual Studio の **テスト エクスプローラー** を使って、テストの再生および管理を行うことができます。

記録された対話は、プロジェクトにファイルとして追加されます。生成されたファイルのデフォルトのファイル名は、プロジェクトのデフォルト プログラミング言語に応じて、UnitTest<Index>.cs または UnitTest<Index>.vb になります。たとえば、Visual Basic プロジェクトの初回テストを記録している場合、生成されたファイルの名前は UnitTest1.vb になります。

 **注:** 新しいプロジェクトを作成し、そこに新しいテスト記録することもできます。


Silk4NET テストの実行

このトピックでは、Visual Studio で Silk4NET テストを実行する方法について説明します。

1. 選択したプロジェクトまたはソリューションで利用可能なすべてのテストを表示するには:
 - Visual Studio 2010 の場合、 **テスト > ウィンドウ > テスト ビュー** をクリックします。
 - Visual Studio 2012 の場合、 **テスト > ウィンドウ > テスト エクスプローラー** をクリックします。
2. **テスト ビュー** または **テスト エクスプローラー**（使用している Visual Studio のバージョンによって変わります）で、実行するテストを選択します。
3. 選択項目を右クリックし、次のいずれかをクリックします。
 - Visual Studio 2010 の場合、 **選択範囲の実行**。
 - Visual Studio 2012 の場合、 **選択したテストの実行**。

選択したプロジェクトまたはソリューションですべてのテストを実行するには、 **テスト ビュー** または **テスト エクスプローラー**（使用している Visual Studio のバージョンによって変わります）で、 **すべて実行** をクリックします。

4. TrueLog を使用してテスト結果を調べるには、 **結果の検討** をクリックします。ダイアログ ボックスを閉じるには、 **OK** をクリックします。

 **注:** Visual Studio は、テストの実行時にテストの実行に必要なコンポーネントを開始し、テスト実行の完了時に Open Agent やすべての開いているブラウザ ウィンドウを終了し、すべてをクリーンアップします。

TrueLog の有効化

新しい Silk4NET スクリプトでは、TrueLog がデフォルトで有効になっています。Visual Studio Unit Testing Framework を使用している既存の Silk4NET スクリプトで TrueLog を有効にするには、スクリプト内のすべてのテスト クラスの TestClass 属性を SilkTestClass 属性で置き換える必要があります。

TrueLog を有効にするには、以下を実行します。

1. TrueLog を有効にするテスト クラスが含まれたスクリプトを開きます。
2. テスト クラスに SilkTestClass 属性を追加します。

ディレクトリの TestResults サブディレクトリに TrueLog が作成されます。このディレクトリには、Visual Studio ソリューション ファイルおよび Visual Studio Unit Testing Framework の結果が格納されています。Visual Studio ソリューション ファイルには、Silk4NET スクリプトが格納されています。Silk4NET テストの実行が完了したら、ダイアログ ボックスが開きます。**結果の検討** をクリックすると、完了したテストの TrueLog を確認できます。

使用例

Visual Basic スクリプト内のクラスに対して TrueLog を有効にするには、以下のコードを使用します。

```
<SilkTestClass(> Public Class MyTestClass
  <TestMethod(> Public Sub MyTest()
    ' my test code
  End Sub
End Sub
```

C# スクリプト内のクラスに対して TrueLog を有効にするには、以下のコードを使用します。

```
[SilkTestClass]
public class MyTestClass {
  [TestMethod]
  public void MyTest() {
    // my test code
  }
}
```

テスト結果の分析

テストを実行後、テスト結果を確認し、テスト実行の成功または失敗を分析できます。

1. Silk4NET テストを実行します。実行が終了すると、**再生完了** ダイアログ ボックスが開きます。
2. **結果の検討** をクリックし、TrueLog を使用してテスト結果を調べます。Silk TrueLog Explorer が開きます。
3. Silk TrueLog Explorer で結果をクリックします。
テストに失敗すると、Silk TrueLog Explorer によってスクリーンショットがキャプチャされます。